

東南海・南海地震から



東南海・南海地震とは

東海沖から四国沖にかけての領域を震源とする巨大地震が、今世紀前半にも発生する恐れがあります。

過去にも概ね百〜百五十年周期で繰り返し発生しており、二〇三〇年までの発生確率は、東南海地震が五十%、南海地震が四十%と予測されています。

地震による被害は

東南海地震、南海地震が発生した場合、揺れによる被害に加え、埋立地や干拓地では液状化による被害が生じる恐れがあります。

一九四六年（昭和二十一年）に発生した南海地震では、岡山県内で最大震度6を観測し、

身を守るには

岡山県南部、特に児島湾北岸、高梁川下流域の埋立地や干拓地で大きな被害がありました。（死者五十二人、家屋全壊千二百棟）

また沿岸部では、津波による被害も心配されています。

津波災害を知ろう

津波は海底における地殻変動によって生じます。

東南海地震、南海地震が発生した場合、地震発生からおよそ二時間三十分後に高さ二〜三mを越える津波が笠岡市沿岸に到達すると想定されています。

津波から身を守るには

押し寄せる津波から身を守るには避難する以外にはありません。強い地震や長い揺れ

を感じたら、

- ① 海岸から離れる
 - ② ラジオ、テレビなどから正しい情報を入力する
 - ③ 津波が発生する恐れがある場合は、高台へ避難する
- 笠岡市では早い時期に、津波に対する避難場所を定めることとしており、決まり次第広報紙などでお知らせします。

日頃からの備えを万全に

いつ発生するかわからない地震に備え、普段から次のことに注意しながら、家庭で防災について話し合いをしましょう。

- 家族一人ひとりの役割分担を決める
- 家の内外の危険箇所をチェックする
- 家具などの転倒落下を防ぐ安全な配置を考える
- 災害時の連絡方法や避難場所を確認しておく
- 非常持ち出し品のチェックと定期的な点検を行う

問合せは

総務人事課

☎ 2121まで

非常時持ち出し品チェックリスト

避難が必要になったときにすぐに持ち出せるよう普段から準備・点検をしておきましょう

非常時持ち出し品 (避難のときにまず最初に持ち出すもの)	非常備蓄品 (災害復旧までの数日間(最低3日)分準備する)
携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 予備電池も忘れずに	飲料水 <input type="checkbox"/> 飲料水は1人1日3リットルを目安に ペットボトルや缶入りのミネラルウォーター
懐中電灯 <input type="checkbox"/> できれば1人に1つ 予備電池は多めに	非常食品 <input type="checkbox"/> 缶詰やレトルト食品、ドライフーズ、 チョコレート・アメなどの菓子類
救急医薬品 <input type="checkbox"/> ばんそうこう、消毒薬、包帯、持病の薬	燃料 <input type="checkbox"/> 卓上コンロ、携帯コンロ、ガスボンベ、 固形燃料
非常食とその関連品 <input type="checkbox"/> 乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられるもの、 ミネラルウォーター、缶切り、栓抜き、紙皿、紙コップ	その他生活用品 <input type="checkbox"/> 毛布、寝袋、洗面用具、ポリタンク、バケツ
貴重品 <input type="checkbox"/> 現金、預貯金通帳、印かん、免許証、権利書、 健康保険証	※ <input type="checkbox"/> に✓を記入して非常時持ち出し品チェックをしましょう
その他生活用品 <input type="checkbox"/> 衣類(着替え)、タオル、ティッシュ、雨具、 ライター、キッチン用ラップ、生理用品、紙おむつなど	